

## 山行報告 守門岳 山スキー

【山城】越後山脈 【日程と天気】2016年4月1日（金） 晴れ

【メンバー】CL 吉川 SL 柘植 庭田（記）

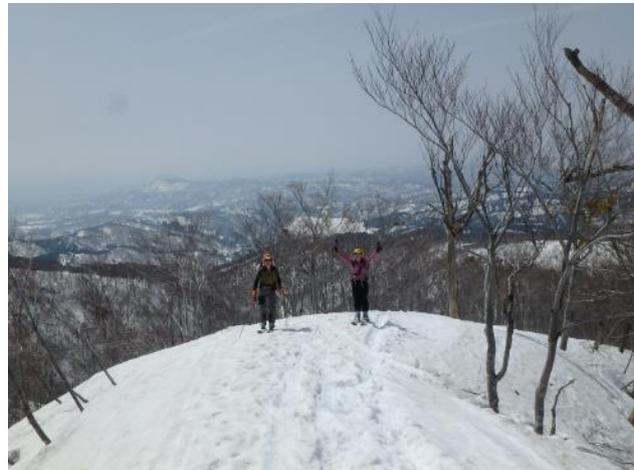
【行程】二分（8:45）～保久礼小屋（11:00）～守門大岳（13:45-14:15）～二分（16:45）

累計高度(+) 1,135m 累計高度(-) 1,118m

【内容】早朝 4:00 に市川インター近くのコンビニでピックアップして頂き、二分の駐車場に 8:30 ごろに到着。出発の準備をし、9 時前に出発。先行者が 1 名見えた。ただツアー中は誰とも会わなかった。平日という事もあり入山者は少なかった。



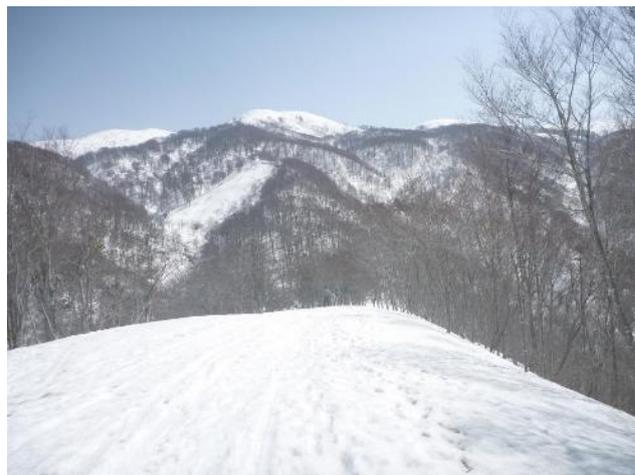
登りでいきなりの核心。尾根にあがるガケに雪がなくシール登攀出来ない。板を担いで、プラブーツで急斜面をトラバースする。なんとか核心部を抜けて這い上がり、無事に尾根に取りついた。



尾根沿いを順調に高度を上げていく。ただ暑い。春スキーを通り越して、いきなり夏山登山のようだ。なかなか調子は上がらない。1.5L 持っていた水は、あっという間に飲み干してしまった。5 時間ほどで大岳山頂に到着。360 度の大パノラマを楽しむ。



真っ白な山頂は、ここが新潟?と疑うような景色だった。30 分ほどの休憩で滑走に入る。山頂直下には多くのトレースがある、いい感じの谷がある。滑ってみたいな~と思いつつも今回は、素直に来た道に戻る。登ってきた尾根もなかなか良い。斜度といい雪質といい思ったより快適に滑れた。



しかし下部に行くにしたがい雪は厚く重くなってきて、登りで疲れた大腿四頭筋が悲鳴をあげはじめる。それにしても、もう 15:00 なのにまだ暑い。

尾根滑走が終わり、冒険はここからが本番。さてどうやって二分まで戻るか。一番確実なのは林道に行くコース。だか、相当大回りになる。行きに板を担いだ崖を下るのは無理。とりあえず林道を進み、途

中で二分に続く橋方向に抜けれそうなポイントを探る事にした。

結果、ひたすら林道を歩き（漕ぎ?）、ぐる〜と回って、やっと二分の駐車場へ到着した。

今夜は音松荘で一泊。宿泊客は我々3名だけで、のんびりと過ごせた。お風呂も温泉で体が芯から温まる。食事も山菜天ぷらや地の物が頂けて、とても美味しかった。せっかくなのでビールで乾杯をして、宿のおかみさんと談笑する。



今年は一カ月季節が前倒しになっていると感じているようだ。宿周辺も去年は3mほどあった雪が今年は70cmとの事。山スキーも今週が最後かな。との事だった。明日、4/3は第60回浅草岳スキーツアーの日だった。音松荘の旦那さんはツアーの準備で、前日に赤リボンをつけたりルートを整備をされていたとの事。そこで浅草岳の状況を教えて頂く。

前岳から山頂まで雪はあるので問題ないが、嘉平与ボッチの手前は亀裂が入っている箇所があり夏道ルートを迂回した方が安全である。また、登山道は整備したばかりでリボンもたくさんあるので、赤リボンを目印にしていけば迷う事はない。との事だった。

そこで、旦那さんが我々に「ひとつお願いがあるんですけど、、」という。

??なんだろう。と、思っていると、「先代から受け継いだ、ナタを山頂に忘れてきてしまって、もしあったら持って帰って頂きたいんですが。」

もちろん、快く承諾した。これで翌日の浅草岳は敗退出来なくなった。

